

区分	卦(か)	卦 爻 の 本 文
4	山水蒙	<p>もう とお われ どうもう もと あら どうもう われ もと 蒙は、亨る。我童蒙を求むるに匪ず。童蒙より我を求む。</p> <p>しょぜい つ さいさん けが けが すなわ つ ただ 初筮は告ぐ。再三すれば瀆る。瀆るれば即ち告げず。貞</p> <p>よ しきに利ろし。</p>
	初爻	<p>もう ひら ひと けい よ しっこく と 蒙を発く。もって人を刑するに利ろし。もって桎梏を説き、</p> <p>ゆ りん もって往けば吝なり。</p>
	二爻	<p>もう か きち つま い きち こ いえ おさ 蒙を包ぬ、吉なり。婦を納る、吉なり。子にして家を克む。</p>
	三爻	<p>おんな めと もち きんぷ み み たも 女を取るに用うるなかれ。金夫を見れば、躬を有たず。</p> <p>よ 利ろしきところなし。</p>
	四爻	<p>もう くる りん 蒙に苦しむ、吝なり。</p>
	五爻	<p>どうもう きち 童蒙、吉なり。</p>
	六爻	<p>もう う あだ よ あだ ふせ よ 蒙を撃つ。寇をなすに利ろしからず。寇を禦ぐに利ろし。</p>

※書き下し文は、易経(上)(下)～高田 真治、後藤 基巳訳(岩波文庫)を参考にしています。